

Lesson 1

金利はどのように動く？

●金利はお金の賃借料

住宅ローンなどお金を借りるときに、借り手はその手数料として利息を支払っています。では、お金を預けるときにもらう利息はどうでしょうか？ 銀行など金融機関は、預金者から資金を集め、その手数料を利息として預金者に支払い、その資金でお金を借りたい人に融資をしたり、金融機関が投資・運用をしています。簡単に言うと、利息とはこのように「お金を貸し借り」するときの使用料と考えられます。お金を借りたいという人が多いと金利は高くなり、少ないと下がります。しかし、それだけで判断できないのが難しいところです。

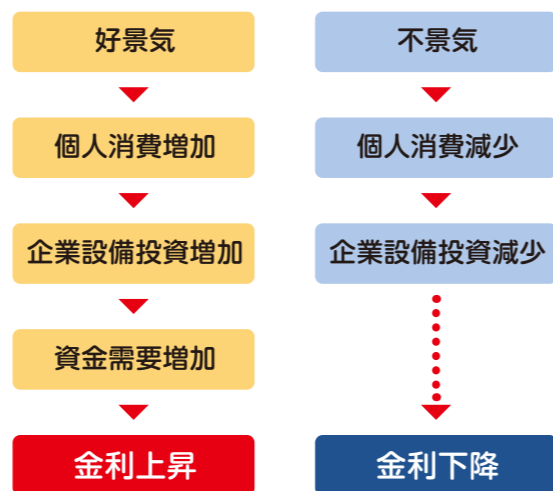
●1年未満の短期金利と1年以上の長期金利

金利にもさまざまな種類がありますが、1年以上・1年未満で大別でき、それぞれの役割も違ってきます。長期金利は、主にTVや新聞でもよく聞く「新発10年国債」の利回りを指します。短期金利は、一般にあまりなじみがない「無担保コールレート翌日物」（金融機関同士の短期の貸し借り）などを指し、金融政策に密接に関係があります。長期金利も金融政策の影響を受けますが、将来の物価変動や将来の短期金利の推移の予想が大きな役割と言えるでしょう。長期金利は、住宅ローンや融資の金利の目安に使われます。

- お金を借りる際の「賃借料」が金利
- 短期金利と長期金利
- 金利の動きは景気に大きく影響

●景気と金利の関係

景気が良くなると、消費者はモノを買う意欲が高まり、企業はもっと生産できるよう設備投資します。すると資金需要も高まるので、金利が上がると考えられます。反対に、不景気になると人々は消費を抑えますので、企業は生産を控え資金需要も低下し、金利は下がります。



これ以外にも為替や海外の要因など複雑な影響がからみあっています。

預貯金の金利が低いのは、リタイア世代にはうれしくないわね

逆に、住宅ローンを組む世代には恩恵があるんだよ

どうなっているの？ お金に関する相場の動き

株価の乱高下や為替の大きな変動など、近年はお金に関する相場の動きが大きくなっているように感じます。「私は投資していないから関係ないわ」という人も、そうとは言い切れません。実は社会や生活に大きく影響しているのです。相場が動く要因を考えてみましょう。

時間の経過で見てみると波があるのかわかるわね

※本原稿は、一般的な傾向を解説しており、投資判断を断定したり促すものではありませんのでご注意ください



振り返ると、「なるほど」と思うことがあっても、将来の動きを予測するのは、専門家でも非常に難しいんだよ